

横浜 ヤングケアラーズ プレフェスティバル'23 イベント案内資料



一般社団法人Omoshiro、株式会社懐中電灯、つるみヤングケアラーラボ



目次

1. 背景と目的	02
2. 課題と解決策・方向性	03
3. イベント実施概要	04
4. 具体施策	05
5. 会場平面図	08
6. 運営スケジュール	09
7. 団体紹介	10
8. 会場アクセス・連絡先	11

背景と目的



企画の背景

急速な社会の様々な変化に伴い、地域や家庭が果たしてきた役割の一部を代替する必要性が高まっている中、暮らしにおける人と人のつながりや支え合いの基盤が弱まってきている。

高齢者、障害者、子どもなどの対象者別・機能別に整備された公的支援についても、昨今、様々な分野の課題が絡み合って複雑化したり、個人や世帯単位で複数分野の課題を抱え、複合的な支援を必要とするといった状況が見られ、対応が困難なケースが浮き彫りになっており、その一つとしてヤングケアラーの問題が挙げられる。

また、2018年に「SDGs未来都市」に選定された事を契機にSDGsの取組を進めてきた横浜市では、社会課題をビジネスの手法で解決する「リビングラボ」の取り組みが広がっており、「ひと」と「まち」の持続可能性とエンパワーメントにも着目した、横浜版循環型経済「サーキュラーエコノミーplus」を提唱している。

2022年10月21～28日の8日間に渡って同市主催による「よこはま共創博覧会2022 ～持続可能な横浜を紡ぐ対話と探求の8日間」が開催された。

企画の目的

- ・社会構造の変化や人々の暮らしの変化を踏まえ、制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながり、支え合う取り組みを育む

- ・一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく「地域共生社会」を目指すと同時に、SDGsへの貢献に向けて環境問題及び市民のウェルビーイングの観点からのアプローチとして「サーキュラーエコノミーplus」を普及する

課題と解決策・方向性（コンセプト）



課題（理想的な状態へ向けて）

- ・地域共生社会を実現する取り組みのロールモデルの一つとして、人と人がつながる、子どもと大人（支援者を含め）をつなげる場づくりを提供する
- ・ヤングケアラーのさらなる認知拡大及び正しく知ってもらえるための発信の場を広げる（ヤングケアラーのこどもたちが“可哀想”や“大変”などのレッテルを貼られないよう、ヤングケアラーについてポジティブなイメージを多くの方に伝える）
- ・暮らしの中の身近なもので、楽しみながら環境問題を自分ごととして考えられる仕組みをつくる（脱炭素先行地域である横浜から、気候変動等環境を考えた草の根活動のロールモデルとして）
- ・アップサイクルであるカプセルアートの認知拡大をさらに推進するとともに、横浜版地域循環型経済（サーキュラーエコノミーplus）におけるカプセルアート×ヤングケアラーという新しい共創の方向を示していく
- ・持続可能なイベントにすべく、継続的に行う

課題の解決策から導いた企画の方向性（コンセプト）

- ・将来的に本当の意味での横浜ヤングケアラーズフェスティバルの実施を見据えた、プレ（本番前の、試験的な）フェスティバルを実施する
- ・カプセルアートを通じて、ヤングケアラーであるこどもたちと大人たち（来場者及び関係者各位）が、つながる、ワクワクする、笑顔で過ごせるような、地域の皆様に共に創る企画を実施する

イベント実施概要

イベントタイトル

カプセルアートで楽しくSDGs

横浜 ヤングケアラース プレフェスティバル'23

～こどもたちとつくる1日。一緒にオモシロがる時間を過ごしませんか？～

実施概要

- 日時 2023年1月22日（日）10:00～15:00（作品展示期間：2023年1月22～26日）
- 会場 横浜市市民協働推進センター スペースA・B（横浜市庁舎1F）
（作品展示会場：横浜市庁舎アトリウム 展示スペースA）
- 内容 来場者参加型カプセルアート展示物作成、ワークショップ、シールラリー、展示等
- 対象 どなたでも入場可
- 入場 無料
- 共催 一般社団法人Omoshiro、株式会社懐中電灯、つるみヤングケアラーラボ
- 後援 横浜市政策局（予定）

具体施策[目玉コンテンツ]



目玉コンテンツ

来場者参加型イベント

カプセルアート展示作品をみんなで作ろう！

ご来場いただいた方にご参加いただき、みんなで一つのカプセルアート展示作品をつくります。

展示作品のテーマとして、こどもたちの声と
こどもたちが楽しめるものを作ることを大切にします。

■開催時間 10:00～14:00

■お披露目イベント 14:30～

※時間は当日の状況により前後することがあります



具体施策[フィールドコンテンツ]

フィールドコンテンツ

1. Omoshiroカプセルアートワークショップ

- 概要 こどもたちと来場者のコミュニケーションが生まれるきっかけづくりになるよう、こどもたちが先生になって来場者と一緒にカプセルアートを作成します。
- これまでにこどもたちが作成した、いくつかのカプセルアート作品の見本の中から来場者が作成したい作品を選んで一緒に作成します。

■実施時間 10:00～15:00 ※最終受付 14:30予定



2. シールを全部集めておみくじを引こう !シールラリーイベント

- 概要 来場者がくまなくイベントコンテンツにご参加いただけるよう、来場者全員にシールラリー台紙を配布し、シールラリーを実施します。
- 各共催団体それぞれが考えた条件をクリアするとシールがもらえ、シールを全部集めると、こどもたちが新年にちなんで作成した、プラ板おみくじ入りカプセルをヨーヨー釣りの要領で釣っていただく体験が可能です。※数量限定

■実施時間 10:00～15:00 ※最終受付 14:30予定

具体施策[展示関連]

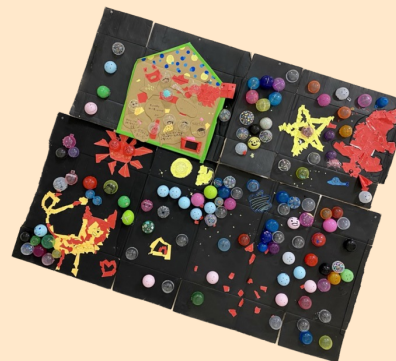


展示関連

ヤングケアラーの啓発、こどもたちの声、及び環境問題への取り組みに関して、各共催団体による以下内容を展示します。

1. つるみヤングケアラーラボ

- ・ つるみヤングケアラーラボについて
- ・ 鶴見小・中学校へのアンケート調査報告に関する内容



2. 一般社団法人Omoshiro

- ・ Omoshiro秘密基地イベントで練習してきた「伝えること」のこどもワーク作品（こどもたちの声と願いが見える展示物）
- ・ 鶴見区潮田地域での参加イベントにて作成予定の牛乳パックランタン
- ・ カプセルアート作品（これまでこどもたちが作成した作品）

3. 株式会社懐中電灯

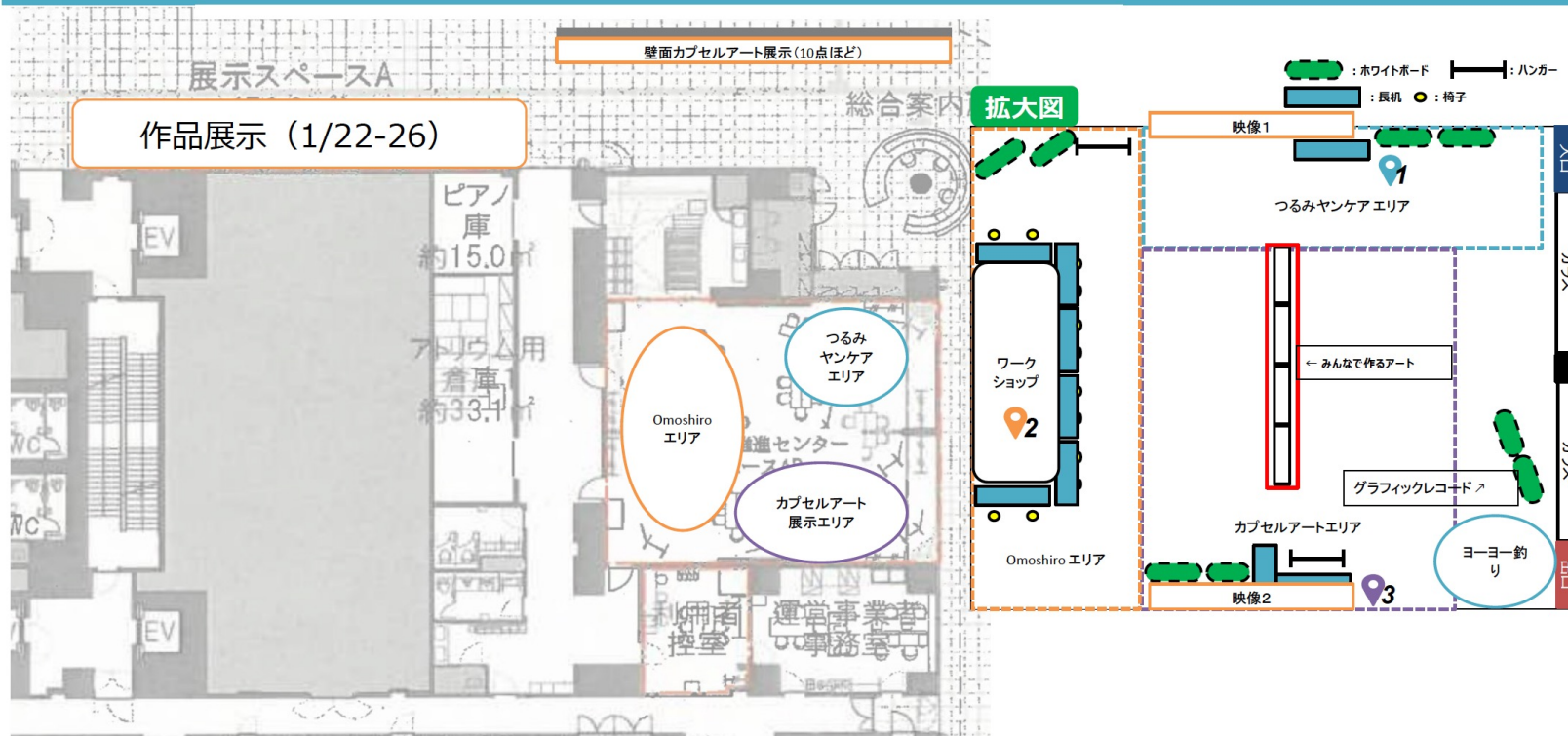
- ・ みんなで作る装飾、過去作品



会場平面図



レイアウト



スケジュール

項目	10月	11月	12月	1月
キックオフミーティング				
企画・役割決定				
企画書・案内チラシ等資料作成				
各コンテンツ及び展示準備				
ご協賛依頼				
集客				
イベント実施（2023/1/22）				
作品展示 （開催日より5日間を予定）				

団体紹介



一般社団法人Omoshiro

「出会う×つながる⇒想いをつなぐ」

私たちOmoshiroは、ひとり親のお母さん、精神疾患を抱えたお父さん・お母さん、サポートを必要とする家庭とその家庭に育つこどもに対して「親子まるっと伴走支援」を大事に、生活・就労・学習・居住支援等に関する事業を行い、一人ひとりの個性・多様性を生かした、誰もが暮らしやすい社会の実現を目指して活動する、「面白（オモシロ）がる」人たちでつくる法人です。

イベント当日にお会いできますことを楽しみにしております。一緒に面白がってワクワクしましょう♪

株式会社懐中電灯

カプセルアートは廃棄カプセルとアートを融合させた誰もが平等に楽しめるアップサイクルアート

株式会社懐中電灯は、地域と共に、社会を照らし続け、活動を通じてすべての人が生きがい、やりがいを発見する取り組みを推進しています。楽しみながら環境への負荷を減らせるようなアイデアを今できることで感じ、考え、笑顔でつながろう つなげよう のコンセプトのもとでサステナブル活動を展開しています。

カプセルアートは、使用後の製品を回収して、捨てずに活用します。環境への負担を最小限に、ゴミになってしまうものを利活用しアップサイクルアートとして、新たな価値に代えています。このアート活動を通して、障害のある方やヤングケアラーの子どもたち、多様な方の生きがい、やりがいを発見し、笑顔になってサステナブルを学べる居場所づくりを提案します。

つるみヤングケアラーラボ

「安心できる居場所がほしい」「ほめられたい」…これはヤングケアラー当事者のこどもたちから聞いた声です。今、話題となっている「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っているこどもたちとされています。わたしたち鶴見区の街にもヤングケアラーのこどもたちは暮らしています。つるみヤングケアラーラボは、横浜市の伴走を受け、こどもたちと出会える現場の支援者、地域の方々などの地域のゆるやかなつながりの中で、ヤングケアラーを正しく知ること、こどもの声を真ん中にした「対話」を大切に育むための活動をしている団体です。

[illegible]

法人名	一般社団法人 Omoshiro
Email	project@omoshirosan.or.jp
Mobile	080-5677-7888
所在地	神奈川県横浜市鶴見区本町通 1 -2 ブックストーリー秋105
HP	https://omoshirosan.or.jp
担当者	大西 紀子

